



2018 年度 筑波-WISTEAM プログラム(カリフォルニア)



1. 概要

【筑波-WISTEAM とは何か】

WISTEAM とは Women's Introduction to STEAM (Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics) のこと。将来、理工系分野でグローバルに活躍したいと考えている日本の女子高校生の国際的視野や、進路選択の幅をひろげることを目的とした筑波大学の WISTEAM プログラムです。

【プログラムの特徴】

- 平成 30 年度文部科学省の海外派遣事業により全米理工系学部教育ランキング No.1 の Harvey Mudd College (HMC) で WISTEAM 研修を受講した現役高校教諭による現地指導・引率。
- 南カリフォルニアのユニークな自然環境における「生物多様性」や「エネルギー」に関する PBL (プロジェクト・ベースド・ラーニング) にもとづくフィールドワークによる探究学習。
- クレアモント市の現地高校を訪問し、アメリカ人高校生との意見交換や国際交流。

【期待される研修生像】

- 理工系のキャリアに興味がある人
- 理工系女性のロールモデルを探している人
- 視野を広め、グローバルに活躍することを考えている人
- 周囲の人たちと、積極的にコミュニケーションを取る意欲がある人
- 海外の人たちと英語を使ってお互いのことを知りたい人

【研修日程】

- 事前研修：2019 年 1 月～3 月の間、3 回程度の事前課題のオンライン提出が必須
- 海外研修：2019 年 3 月 21 日 (木) ～29 日 (金) (7 泊 9 日)

【募集対象・履修要件・定員・選抜方法】

- 対象：2019 年 3 月時点で高校 1 年生～3 年生の女子生徒
- 履修要件：事前課題を提出し、プログラム全日程に参加した研修生には、筑波大学から修了書が授与されます。
- 定員：16 名 (最少催行人数：10 名) 予定
- 選抜方法：一次審査 (書面審査・英文エッセイ)、二次審査 (グループ面接)

【選考日程】

2018年12月3日(月) 10:00AM 申し込みフォームによる応募締め切り

2018年12月10日(月) 一次選考結果発表

2018年12月26日(水) 二次面接試験(日本語および英語による集団面接、遠方の場合はウェブ面接等に対応可)

2018年12月27日(木) 10:00AM 最終合格者発表

【参加費用】

約36万円予定(燃油サーチャージ等の影響で変動する場合があります)

2. 出願と選抜

【出願要件】

本プログラムへの出願において、以下の2つの条件を満たすことが必要です。

1. 2019年3月時点の高校1年生~3年生であること。
2. 下記期日までに応募を完了していること(時間厳守)。

【一次選考 : 書類選考】

申し込みフォームに必要事項を入力し、下記のテーマで英語または日本語のエッセイを書いてください。

- 英語 150 words

Choose a topic from either 1) biodiversity or 2) renewable energy and write why you are interested in it.

- 日本語 300字

1)生物の多様性 または 2)再生可能エネルギーの いずれかのテーマを選び、なぜ興味があるのかについて簡潔に記載してください。

【二次選考:日本語および英語による集団面接(一次選考合格者のみ)】

【選考日程】

2018年12月3日(月) 10:00AM 申し込みフォームによる応募締め切り

2018年12月10日(月) 3:00PM 一次選考結果発表(ウェブサイト上に掲示)

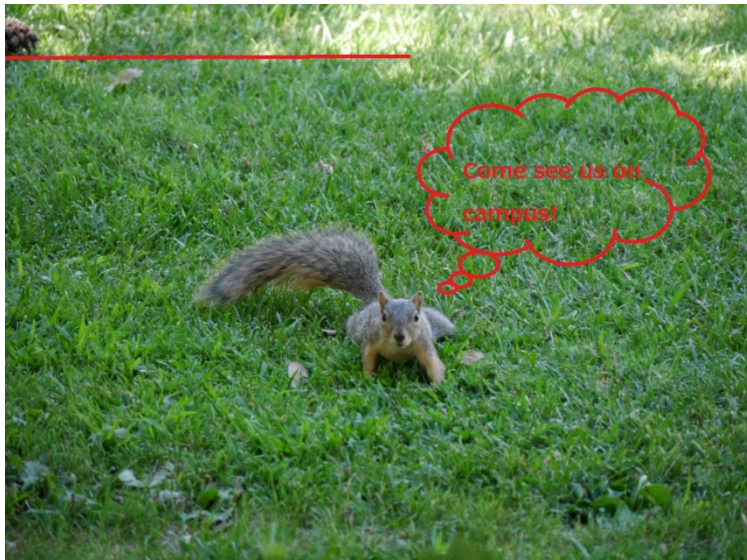
2018年12月26日(水) 二次面接試験(日本語および英語による集団面接)(遠方の場合はウェブ面接等に対応可)

2018年12月27日(木) 10:00AM 最終合格者発表

3. 研修風景

2019年3月21日(木・祝)から29日(金)に行われた研修では、1都2府4県から13人の女子高校生、高等専門学校女子学生が参加し、パームスプリングスやソルトン湖でのフィールドワーク、Harvey Mudd College 訪問、現地高校生との交流などを行いました。





4. 修了生・保護者からのフィードバック

【修了生の声】

- 大学教授の先生に直接お会いして質問できることはなかなかないと思うので、とても良い機会になりました。また、外国の仲間とコミュニケーションをとれたことは自分にとって強みになりました。
- 普通の旅行では行けない大学や高校を訪問できた。実際の授業を受けて文化や教育の違いを肌で感じたりして、面白かった。
- 全国から集まってきたメンバーからたくさんの刺激を受けた。夜の振り返りでは、みんながすごくいい意見を持っていた。
- 日米の教育の実態の違いについて学んだあとで、日本人同士でディスカッションできたことが良かった。先生を交えて夜にホテルで行った討論がとても印象的だった。また同じ方向を目指す女子だけのプログラムというのが、心のうちから話しやすい環境だった。
- 時間に余裕があって休憩が取れた。BBQ楽しかった。
- 前半に環境調査、後半に現地の学生との交流、とメリハリがあり、とてもよかった。
- 現地高校生との交流の時間はさらにあるといいと思いました。
- 地学的なところをもっと見たかったです！（天候のせいなのでしょうがない・・・）
- 地熱発電所と大学での英語は日常生活レベルを超えていて聞き取れず内容があまりわからなかった。
- すごーく楽しかったです！事前研修では緊張していたものの、先生のノリもよくて、最初から最後まで本当に充実していました。
- たったの9日間で自分自身ここまで学びに対する考え方が変わると思っていなかった。日米の教育の違いを目の当たりにして、すごくアメリカ型の教育にあこがれた。自由な雰囲気なのが、とても居心地がよさそう。受験、受験、と言われている中で、大学生になった後の将来が見通せた気がした。海外の大学に興味をわいた。
- この研修を通して、自分自身大きく成長できたように感じた。学習に対する考え方を、アメリカの学生からだけでなく、一緒に参加したメンバーからも学べた。

【保護者の声】

- 本人が非常に満足して帰ってきました。組まれていた現地調査等はもちろんですが、 Harvey Mudd College やクレアモント高校での時間は、想像以上に有意義なものだったということです。そして、何よりも、一緒に参加した、全国から集まった同じ志のリケジョたちと知り合い、交流できたことで、本人が非常に刺激を受けたようです。みんなと話し合ったことの中身がとても深く、自分もよく考えることができ、とても心地よい時間だったと申し添えておりました。
- 短い期間でしたが、途中で帰国したくないと思うほど充実していたようです。このプログラムで一緒に過ごした友達とは今後つながっていくといいなと思います。このプログラムに参加できて良かったです。

- 楽しい体験や衝撃を受けたことについて、たくさんのお話を聞かせてくれました。日本で常識とされていることとの差を強く感じる事ができ、広い視点で物事を考えることを学べたようです。特に「アメリカの大学で試される学力は自分自身で学ぶことができる力」だということを知り、学びに対する姿勢が大きく変化しました。
- 海外の文化に触れたい、研究姿勢を学びたいという願望があった娘には本当に良い機会でした。理系志望の子ですが、生物学などの一分野だけでなく、人間の文化や営みまでを総合的にとらえて研究していきたいと思っている（と思われる）娘には、このプログラムは良い経験であり、将来につながる入り口を見せてくださったと感じております。
- 国内の様々な地域の同世代の生徒の皆さんと交流できて有意義でした。英語での授業が難しく、英語力をもっと高める必要性を感じたようでした。

*記載されている情報は2018年度時点のものになります